

高齢者の日常生活・地域社会への
参加に関する調査

令和3年度

内閣府政策統括官（政策調整担当）

目 次

第1章 調査の目的及び方法等

1. 調査の目的	1
2. 調査の仕様	1
(1) 調査地域	1
(2) 調査対象者	1
(3) 標本数	1
(4) 調査事項	1
(5) 調査方法	1
(6) 調査期間	1
(7) サンプルング方法	1
(8) 有効回収数	2
(9) 調査委託機関	3
(10) 企画分析委員会	4
(11) 本報告書を読む際の留意点	4
3. 調査対象者の基本属性	6
(1) 性別 (F 1)	6
(2) 年齢 (F 2)	6
(3) 未既婚 (F 3)	6
(4) 子供の有無 (同居・別居別) (F 4)	7
(5) 同居者 (F 5)	7
(6) 現在の収入のある仕事 (F 6)	7
(7) これまでに一番長くしていた仕事 (F 7)	7
(8) 住居形態 (F 8)	8
(9) 経済的な暮らし向き (F 9)	8
(10) 1か月当たりの平均収入 (税込み) (F 10)	8
(11) 現在の健康状態 (F 11)	8

第2章 調査結果の概要

1. 調査対象者の基本属性	9
(1) 性別 (F 1)	9
(2) 年齢 (F 2)	9
(3) 未既婚 (F 3)	10
(4) 子供の有無 (同居・別居別) (F 4)	11
(5) 同居者 (F 5)	11
(6) 現在の収入のある仕事 (F 6)	12
(7) これまでに一番長くしていた仕事 (F 7)	12
(8) 住居形態 (F 8)	13
(9) 経済的な暮らし向き (F 9)	14
(10) 1か月当たりの平均収入 (税込み) (F 10)	14
(11) 現在の健康状態 (F 11)	15
2. ふだんの生活	16
(1) 日常生活全般の満足度 (問1)	16
(2) 近所付き合い (問2)	18
(3) ふだん親しくしている友人・仲間の有無 (問3)	20
(4) 昔の職場の同僚との付き合い (問4)	22
(5) 家族や親族内での役割 (問5)	24
(6) 将来の日常生活全般についての不安 (問6)	27
(7) 日常生活での活動状況 (問7)	30
(イ) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	31
(ロ) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	33
(ハ) 15分位続けて歩いているか	35
(ニ) バスや電車、自家用車を使って1人で外出しているか	37
(ホ) 自分で食品・日用品の買物をしているか	39
(ヘ) 自分で食事の用意をしているか	41
(ト) 自分で請求書の支払いをしているか	43
(チ) 自分で預貯金の出し入れをしているか	45
(8) 食事・入浴・着替え・移動 (家の中)・排泄での介助 (お手伝い) の必要性 (問8)	47

(9) 日ごろ特に心がけている点や活動 (問 9)	49
3. おしゃれ・食生活	51
(1) おしゃれについてどの程度関心があるか (問 10)	51
(2) 食生活全般に関して満足しているか (問 11)	53
(3) 食生活について日頃どのようなことが気になっているか (問 12)	55
(4) 食事の用意が出来なくなった場合、主にどのようにしたいか (問 13)	57
4. 外出	60
(1) ふだん (散歩なども含め) 外出したいと思うか (問 14)	60
(2) ふだん (散歩なども含め) 外出するか (問 15)	62
(3) 外出するにあたって不便に思ったり、気になったりすることがあるか (問 16)	64
5. 日常生活を行ううえで必要な情報	66
(1) 日常生活を行ううえでもっと欲しい内容 (問 17)	66
(2) 情報機器の利用状況 (問 18)	68
(3) 情報機器を使用しない理由 (問 19)	71
(4) 日常生活情報の満足度 (問 20)	73
(5) 日常生活情報の不満な点 (問 21)	75
6. 社会活動	77
(1) 過去 1 年間に参加した社会活動 (問 22)	77
(2) 社会活動に参加して良かったと思うこと (問 23)	80
(3) 社会活動を行うために必要だと思うこと (問 24)	82
(4) 今後、行いたい活動 (問 25)	84
(5) 社会活動に参加したいと思わない理由 (問 26)	87
(6) 社会活動に参加するためのきっかけ (問 27)	89
(7) 社会活動に参加したい頻度 (問 28)	91
(8) 現在参加している団体や組織 (問 29)	93
(9) 参加している団体や組織の活動場所 (問 30)	96
(10) 参加している学習活動 (問 31)	98
7. 地域の奉仕活動など	100
(1) 地域の奉仕活動に参加するために必要な条件 (問 32)	100
(2) 地域のための奉仕活動における報酬についての考え (問 33)	103

(3) 高齢者が地域のための奉仕的な活動に参加する上での 国や地方公共団体に対する要望 (問 34)	106
8. 世代間の交流・生きがい	108
(1) 若い世代との交流の機会への参加状況 (問 35)	108
(2) 若い世代との交流の機会への参加意向 (問 36)	110
(3) 交流を行いたい世代 (問 37)	112
(4) 世代間の交流を促進するために必要だと思うこと (問 38)	114
(5) 現在どの程度、生きがい (喜びや楽しみ) を感じているか (問 39)	116
(6) 生きがい (喜びや楽しみ) を感じる時 (問 40)	118
9. その他の事柄	121
(1) 高齢者意識 (問 41)	121
(2) 孤独・孤立感 (問 42)	123
(イ) 自分には人との付き合いがないと感ずることがあるか	123
(ロ) 自分は取り残されていると感ずることがあるか	125
(ハ) 自分は他の人たちから孤立していると感ずることはあるか	127
(3) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大による生活への影響 (問 43)	129
(4) 満足している高齢者政策や支援 (問 44)	131
(5) 今後特に力を入れてほしい高齢者に対する政策や支援 (問 45)	133
第 3 章 調査結果の分析・解説 (敬称略)	
・高齢者の孤独感を規定する要因に関する分析：	
親しい友人・仲間を持つことが「孤独感」の軽減に有効 佐藤 博樹	135
・生活機能の自立・非自立、都市規模別にみた高齢者 小林 江里香	143
・「外でちょっと立ち話をする相手」が近所にいる人の特徴 澤岡 詩野	156
・高齢者の「生きがい」の規定要因について	
—「役割」と「孤独感」を中心とした分析— 藤森 克彦	162
第 4 章 集計結果	
1. 調査票 (単純集計結果付き)	173
2. 単純集計結果	193
3. クロス集計表	208
(1) 基本軸クロス	208

表側：F1 性／F1 性×F2 年齢／F1 性×F3 未既婚／F4 子供の有無（同居・別居別）／F5 同居者／F6 現在の収入のある仕事／F7 これまでに一番長くした仕事／F8 住居形態／F9 経済的な暮らし向き／F10 1か月当たりの平均収入／F11 現在の健康状態／*都市規模／*地域

(2) 質問間クロス 274

表側：Q1 日常生活全般についての満足度／Q2 近所の人との付き合い方／Q3 親しくしている友人・仲間の程度／Q4 職場の同僚との付き合い程度／Q15 ふだん（散歩なども含め）外出するか／Q18 情報機器の利用内容／Q22 この1年間の社会活動への参加／Q29 現在参加している団体や組織／Q31 次のような学習活動に参加しているか／Q35 若い世代との交流への参加状況／Q39 生きがいを感じている程度／Q40 生きがいを感じている時／Q43 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により生活に受けた影響